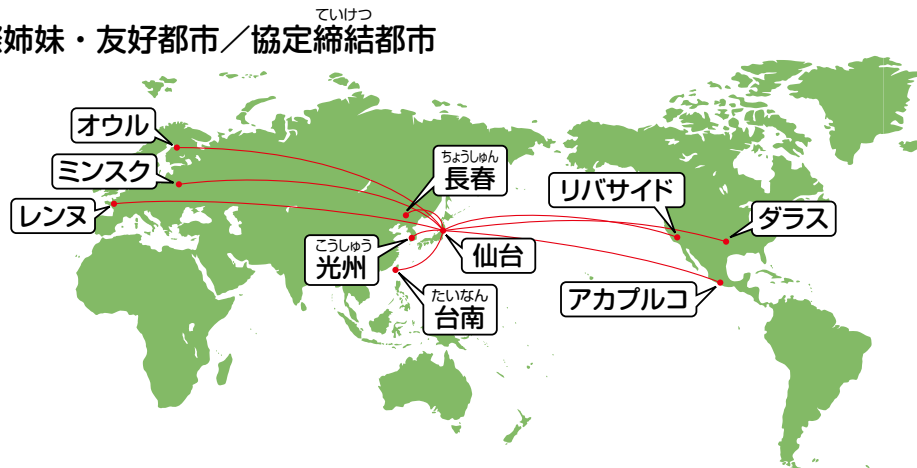


1 国際姉妹都市をはじめとする世界からの支援

地震発生直後から、姉妹・友好都市、仙台市と協定を結んでいる都市をはじめとする世界の様々な都市の市民・団体・企業・学校などが、仙台市のために支援活動を行いました。

国際姉妹・友好都市／協定締結都市



長春市（中国）から支援物資としてとどいた飲料水



ダラス市（アメリカ）から寄せられた応援メッセージ



台南市（台湾）で開かれたチャリティイベントには、1,000人以上の市民が参加
写真提供（台南市）

アカプルコ市（メキシコ）では市長や交流団体によるいのりがさげられ、オウル市（フィンランド）では留学生が中心となりチャリティイベントが開かれました。またミンスク市（ベラルーシ）は、被災した生徒・児童をミンスクに招待してくれました。

その他の姉妹都市などからも、各種チャリティイベントや震災写真展の実施、多大な寄付金・支援物資・応援メッセージの送付などを通して、多くの支援とはげましをいただきました。

2 世界の国々からの支援や救援活動

震災後は、多くの国々からの支援と、緊急援助隊や医療支援チームによる被災地救援の活動が行われました。



被災者をはげます
オーストラリア首相



ロシア救援チーム

写真提供（外務省）

3 日本の海外支援について（国際緊急援助隊）

日本では、地震や台風などの自然災害が多いため、災害救援への知識が多く、進んだ技能もあります。その知識や技能を生かし、外国で大きな災害が発生したとき、被災した地域に様々な支援を行う仕組みがあります。

国際緊急援助隊は、青年海外協力隊で知られるJICA（国際協力機構）※1が事務局となり、救助チーム、医療チーム、専門家チーム、自衛隊部隊、感染症対策チームで組織されています。被災国の要請に応じて、救助活動にあたっています。

※1 開発途上国への国際協力を行う政府機関



ネパール大地震での救助活動



パキスタン洪水被害での医療チーム



フィリピンの台風被害に対する自衛隊の援助活動
写真提供（防衛省・自衛隊HPから）